

## ▼北陸

### 【富山】ビールで乾杯

杉谷 和嗣(BBT)

今年度、9番目の同好会として誕生した「酒とグルメの会」。7月9日、猛暑で熱中症警戒アラートが発表される中、16名が参加し、富山市内のホテルにあるビアガーデン「全天候型ガーデンテラス」で発足を開催しました。

皆さん楽しみにしていた同好会なので集合時間の30分前には全員が揃い、ガーデンテラスのオープンを待つことに。

今回の食のテーマは「バックリブ、ローストビーフ&アジアンビュッフェ」肉とアジアンフードをツマミに各種ビール、ワイン、日本酒等2時間食べ・飲み放題!!

17時半スタート時点では主に我々が中心で、食べ物や飲み物をテーブルに運んで楽しんでいましたが、1時間後、涼を求める多くのサラリーマンが来場し、会場は大賑わい。

猛暑もありましたが人の熱気もあり、ビアガーデン選びは良かったと思います。



冷えたビールで「乾杯」!

### 【石川】みんなで作った

「お茶を楽しむ会」チャレンジ茶会

古西 純子(ITC)

「お茶を楽しむ会」は同好会として承認され、6月に広坂別館で「チャレンジ茶会」を開催しました。19名の参加者が全員で力を合わせて作り上げた、まさに手作りの茶会です。

季節の花々を持ち寄った人。野に咲くように活けた人。茶道の元から二両親へ宛てられた貴重な手紙を茶掛(茶室の床の間に飾られる掛軸)として設えた人。そして、「喫茶去(きつさこ)さあ、お茶を一服どうぞ」という禅語を、自ら筆を執り掛軸に仕立てた人もいました。

それぞれの想いが込められたも

のが、茶会に温かい彩りを添えました。

誰もが「喫茶去」のメッセージを体現し、心温まる特別な一日となりました。

この茶会は、参加者全員の協力で作りに上げた、忘れられないものとなりました。



「喫茶去」のもと和やかな雰囲気の花会でした

### 【福井】新茶の摘み取り体験会

清田 精二(FBC)

山々の新緑が鮮やかな5月中旬、越前市の味真野(あじまの)地区で開かれた新茶の摘み取り体験会に、伊藤会長をはじめ日本茶愛好家のメンバーが参加しました。味真野地区は、扇状地で水

はげがよく、約250年前から福井県内では唯一、お茶の栽培を行っていて「味真野茶」として親しまれています。

「味真野茶」をPRしようと、地元保存会が毎年体験会を開いていて、今年は県内外から約40人が参加しました。参加者は、保存会のメンバーから摘み方を教わりながら鮮やかな黄緑色をした5cmほどの新芽を丁寧な摘み取っていきましました。この日は、天候に恵まれ額に汗しながらの作業となりました。収穫した茶葉は、手もみを行い、新茶の香りを楽しみました。



新緑に包まれての茶摘み